

デジタルトランスフォーメーション

推進計画書

DX Promotion Plan 2026

ケアパーク株式会社

2026年6月制定 | 代表取締役社長 宮崎 愛

Care-Park

- 福祉用具レンタル・販売
- 住宅改修
- 福祉機器消毒業務
- 一般レンタル
- 施設・病院向け消耗品販売

営業エリア: 熊本県南部(八代市・宇城市・宇土市 他)

代表メッセージ

私たちケアパークは、熊本県南部・八代市を中心に、福祉用具のレンタル・販売・住宅改修、福祉機器の消毒、施設・病院への消耗品供給を通じて、地域の皆さまの暮らしを支えてまいりました。

近年、デジタル技術の急速な進展と介護人材不足という社会課題が重なるなか、当社はすでに顧客管理・レンタル販売・介護支援・勤怠・会計の各システムを導入し、AI技術(Dify)を活用した自社オリジナルの業務環境を構築するなど、デジタル化を積極的に推進してきました。

これからは「AI活用・デジタル連携・データ活用・セキュリティ強化」の4戦略を柱にDXを推進し、スタッフが人を支える仕事に集中できる環境を整え、地域の皆さまへ持続的に質の高いサービスを届けてまいります。

代表取締役 宮崎 愛



宮崎 愛

代表取締役社長

ケアパーク株式会社

就任: 2025年12月1日

デジタルの力で、地域の「暮らし」と「ケア」を支え続ける。

～ 熊本県南部エリアにおける福祉用具サービスのデジタル変革 ～

■ ビジネスモデルの方向性

介護人材不足や顧客ニーズの多様化に対応するため、AI・デジタルツールを積極的に活用する業務モデルへ転換する。顧客・ケアマネジャーとのデジタル連携を進め、データに基づく経営最適化を実現することで、地域に選ばれ続ける持続的サービス提供体制を構築する。

①

業務変革

AIとデジタルツールで
定型業務を自動化し
スタッフの負担を軽減

②

顧客体験向上

顧客・ケアマネジャーとの
デジタル連携で
サービス品質を向上

③

持続的成長

データ活用による
経営最適化で
地域に選ばれ続ける

4つのDX戦略

01

AI・デジタルツールによる業務変革

Dify AI活用・人事評価/営業支援ツール自社開発、RPA・OCR導入で業務自動化。紙媒体の完全デジタル化(2030年度末100%)

02

顧客・ケアマネジャーとのデジタル連携

国の介護情報基盤・データ連携システムを活用し業務を効率化。訪問頻度を最適化し、質の高いサービスを提供

03

データ活用による経営最適化

在庫管理システム(補助金交付決定済)・人事評価・営業データを統合分析し、経営判断の高度化と生産性向上を実現

04

情報セキュリティの継続的強化

SECURITY ACTION二つ星取得済み。個人のセキュリティリテラシー向上を重点施策に。情報管理体制の継続強化

戦略① AI・デジタルツールによる業務変革

AI活用(Dify)

自社構築のDify AI環境で業務支援を自動化。Claude Codeで自社開発した人事評価システム(60名分の処理を約10時間→5分以内に効率化)・営業支援ツール(AI作成の月次行動計画・全社KPI可視化)を2026年10月より全社運用開始

紙媒体デジタル化

全社の紙書類をスキャン・データ管理。2030年度末までにデジタル化率100%を達成

RPA・OCR導入

定型的なデータ入力・転記業務をRPA/OCRで自動化。スタッフのコア業務集中を実現

戦略② 介護情報基盤を活用したデジタル連携・効率化

現状と課題

現在は訪問主体のサービス提供。ケアマネジャーとの連絡が電話・FAX中心で非効率な部分がある。国主導の介護情報基盤・データ連携システムの整備が進んでいる。

目指す姿

- ・ 国の介護情報基盤・データ連携システムを最大限活用し業務効率化。
- ・ 不要な訪問を削減し、必要なサービスに人員・時間を集中。
- ・ ケアマネジャーとのデジタル連携強化（チャネル整備は順次推進）。
- ・ 顧客・家族との連携方法は今後の検討課題として継続検討。

活用イメージ（目指す姿）

顧客・ご家族

↓ デジタル連携

介護支援システム

↓ デジタル連携

ケアマネジャー

↓ デジタル連携

ケアパーク

戦略③ データ活用による経営最適化

統合データ基盤の構築

Excelによるバラバラなデータ管理から脱却。各システムのデータを統合し、経営ダッシュボードで可視化。リアルタイムな経営判断を実現

AI需要予測・在庫最適化

過去の販売・在庫データとAIを活用した需要予測で在庫を最適化。欠品削減・過剰在庫削減により物流コストを低減

経営KPIモニタリング

売上・稼働率・サービス品質等のKPIを継続的に計測・改善。PDCAサイクルを加速

戦略④ 情報セキュリティの継続的強化

現在の取り組み

- SECURITY ACTION 二つ星 取得済み
- 情報セキュリティ基本方針を策定・公開
- 各種システムのクラウド化・アクセス管理
- 社内セキュリティルールの整備

今後の取り組み(計画)

- 個人のセキュリティリテラシー向上研修を年2回以上実施(全社員対象)
- フィッシング・パスワード管理・SNS利用など実践的な研修を実施
- インシデント対応手順書の整備(2026年内)。DX推進に伴う情報資産の棚卸し
- BCP(事業継続計画)の策定
- サプライチェーン全体のセキュリティ強化

DX推進体制・人材育成

推進体制

DX推進責任者	代表取締役社長 宮崎 愛
DX推進委員会	各部門リーダー(2026年内設置予定)
IT推進担当	外部専門家との連携
現場推進員	各部門DXサポート担当

人材育成方針

- AI推進担当者を部署・職種別に育成(2026年:7名→13名に拡充)
- AI研修を月1回・毎年継続実施。各担当者が業務課題解決・サービス質向上・業務効率化を主導
- 全社員のデジタルリテラシー向上・セキュリティ研修を年2回以上実施。DX推進リーダー外部研修参加支援

IT環境整備方針

導入済み
・顧客管理システム
・レンタル販売管理
・介護支援システム
・勤怠管理・会計
・Dify AI環境
推進中
・人事評価システム(2026年10月～)
・営業支援ツール(2026年10月～)
・ペーパーレス化

成果指標 (KPI)

KPI項目	現状 (2026年)	2028年度末目標 (中間)	2030年度末目標
紙媒体デジタル化率	約30%	60%	100%
AI活用による業務時間削減率	5%	10%以上	20%以上
情報セキュリティ研修実施回数	年1回	年2回以上	年2回以上
ペーパーレス会議・報告書比率	10%以下	40%以上	80%以上
AI・デジタルツール 自社開発・活用数	1種	3種以上	5種以上

※ KPIは毎年見直しを行い、DX推進委員会にて達成状況を確認します。

制定情報

文書名	デジタルトランスフォーメーション推進計画書
制定日	2026年6月30日（火）
版 数	第1版
承認者	代表取締役社長 宮崎 愛
次回見直し	2027年6月（年次）